

会議報告

第 12 回「電磁力関連のダイナミックス」シンポジウム報告

和多田 雅哉

(武蔵工業大学)

第 12 回「電磁力関連のダイナミックス」シンポジウムは、電気学会主催、日本機械学会および日本 AEM 学会共催の下に、2000 年 6 月 29 日(木)から 7 月 1 日(土)の 2 日半の日程で、沖縄県那覇市のメルパルク OKINAWA「郵便貯金会館」で開催されました。沖縄県那覇市での開催にあたり、地元那覇市の協賛を得たのをはじめ、多数の学協会、新聞社等から協賛を得ました。

梅雨明けの沖縄の青い空、青い海の下での講演発表には、172 件の一般講演、6 件の基調講演の申し込みがあり、計 227 名(一般 160 名、学生 67 名)の参加者が集まりました。

一般講演の発表は全 22 セッションで、下記のような内訳でした。

I. 電磁力関連の材料

- | | |
|--------------------|-----|
| (1) 機能性材料・電磁材料 | 2 件 |
| (2) 磁性流体、液晶・電気粘性流体 | 7 件 |

II. アクチュエータ

- | | |
|-----------------|------|
| (1) 電磁アクチュエータ | 13 件 |
| (2) 圧電アクチュエータ | 22 件 |
| (3) 超磁歪アクチュエータ | 7 件 |
| (4) ナノマイクロメカニズム | 6 件 |

III. 電磁力関連の応用技術

- | | |
|---------------------------|------|
| (1) 浮上式鉄道 | 7 件 |
| (2) リニアドライブ技術(輸送, 搬送, FA) | 12 件 |
| (3) リニアドライブ技術(OA, 計測, 応用) | 6 件 |
| (4) 磁気浮上技術 | 9 件 |
| (5) 磁気軸受 | 11 件 |
| (6) 回転機技術 | 8 件 |
| (7) センサ・計測技術 | 6 件 |
| (8) 電磁加速, MPD, MHD | 3 件 |
| (9) バイオメカニクス | 6 件 |
| (10) 静電力応用・画像形成技術 | 9 件 |
| (11) バルク超電導体とその応用 | 16 件 |
| (12) 超電導応用機器 | 3 件 |
| (13) システムの生命科学(QNE) | 2 件 |

IV. 電磁力関連の力学と機能性の制御

- | | |
|-------------------|-----|
| (1) 振動と制御 | 7 件 |
| (2) 電磁構造連成現象と解析技術 | 6 件 |

V. その他関連テーマ

4 件

これらのセッションは、各専門分野の研究者および技術者が一堂に会し、共通の話題について情報を交換し、電磁力利用に関する研究を総合的に発展させることを目的として設定致しました。

講演内容は、電磁力関連の各分野において、今後の発展を示唆させるものが多数あり、異分野の研究者により実のある議論の場を提供できたと思います。お忙しい中、貴重な時間を割いてセッションを企画して頂いた実行委員の方々に、改めて御礼申し上げます。

2 日目の 30 日(金)の夜には、同会場で懇親会が開催されました。113 名の参加者は、武蔵工業大学 海老原大樹 実行委員長の開会の挨拶、親泊康晴 那覇市長の挨拶(代読、玉城正一 助役)に始まり、宮良康正 県指定無形文化財八重山古典民謡保持者による琉球民謡&琉球舞踊の余興が催された懇親会を、十二分に堪能されたことと思います。

懇親会の途中で、第 13 回の本シンポジウムは、日本機械学会主催の下に、2001 年 6 月 21 日(木)~23 日(土)、千葉の幕張メッセ国際会議場で開催されることが、千葉大学 野波健蔵 次期実行委員長より案内されました。また、第 14 回の本シンポジウムは、2002 年に日本 AEM 学会主催の下、岡山大学 高橋則雄 実行委員長により開催されとの案内がありました。

終わりにりましたが、本シンポジウムの運営にあたり、現地実行委員会としてご尽力を頂いた琉球大学上里勝美 実行副委員長、千住智信 実行委員会幹事補佐をはじめ、現地スタッフとして献身的な活動してくれた琉球大学の学生の皆様に対し、心より厚く御礼申し上げます。